

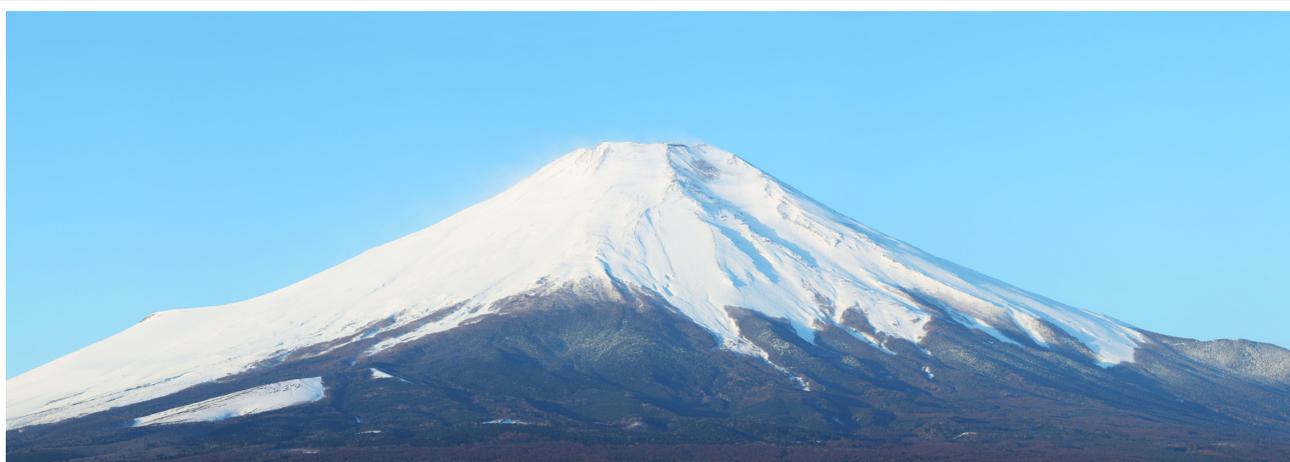
〒104-0025 東京都中央区八重洲2丁目1-4 八重洲セントラルスクエア6階

一般財団法人 日本ふとん協会
TEL. 03-6264-4040

<https://www.japan-futon.or.jp>
FAX. 03-6263-2660

日本ふとん製造協同組合
TEL. 03-6263-2661

<https://www.futon.or.jp>
FAX. 03-6263-2660

**JFA**(一財)日本ふとん協会**JFMA**日本ふとん製造協同組合

2023年 年頭所感

日本ふとん製造協同組合
理事長 浅黄 敬之

新年あけましておめでとうございます。旧年中は組合活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

2023年が組合員の皆様や業界に携わる方々にとって良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと前半は、コロナの第7波による感染拡大により国内経済活動も力強さを欠き、11月からの第8波も現在進行中であります。コロナ禍以前の生活様式に戻るにはもう少し時間がかかりそうです。

また、日米の金利格差により円安が大幅に進展し、その影響で原材料高騰を招き、物価上昇を引き起こしました。この傾向は今年度もしばらく継続すると思われま。

寝具業界におきましても輸入原料高の影響を大きく受けましたが、利益確保に向けてコストアップ分の価格転嫁をしっかりと行うことが肝要かと思ひます。

輸入寝具と国内製造寝具の価格差が広がる懸念がありますが、今まで以上に国内寝具の優位性と自社製造寝具の特色を消費者に認知してもらうよう努力していかなければならないと思ひます。

組合活動は、コロナの影響で休止していた外国人技能実習生受入事業も昨年より再開し、今年は多くの外国人技能実習生を受け入れる予定です。製造従事者確保を考えている組合員の方は是非と



も当組合事務局にご相談いただきたいと思います。

また昨年9月に完成した八重洲セントラルスクエア6階に組合事務所を移転しました。昨年の通常総会時に賛成可決しておりますが、組合事業は外国人技能実習生受入事業のみを残すことになっております。従ってこの事業に参加されていない組合員の方々は、日本ふとん製造協同組合を脱退した上で、新たに一般財団法人日本ふとん協会へ入会していただきますようお願い申し上げます。

一般財団法人日本ふとん協会への入会要綱につきましては、改めてご案内申し上げます。

最後になりますが、本年が組合員の皆様にとって飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げます。

第65回 通常総会議事録

日本ふとん製造協同組合

1. 招集年月日

令和4年5月12日

2. 開催日時及び場所

- (1) 開催日時 令和4年5月26日(木) 午後3時
- (2) 開催場所 アルカディア市ヶ谷7階「妙高」
東京都千代田区九段北4-2-25

3. 組合員数及びその出席組合員数

- (1) 組合員数 50人
- (2) 出席組合員数 38人(本人出席11人、委任状出席27人)

4. 出席理事の氏名

浅黄敬之、佐藤雅己、米山元章、石田裕紀子、河村佑太、西崎匠、石川幸弘、
金井一浩、只野悟

5. 出席監事の氏名

根本昌弘、大賀茂功

6. 議長の氏名

浅黄敬之

7. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

石田裕紀子、金井一浩

8. 議事経過の要綱及びその結果

定刻に至り只野専務理事が司会者となり開会を宣言し、浅黄理事長が挨拶された。

次に司会者より本総会の組合員数50名に対して本人出席11人、委任状出席27名で出席者総数38名であることを報告し、定款42条(総会の議事)の規定により本総会が、成立する旨を告げた。

次いで、司会者より定款43条(総会の議長)の規定に基づき、議長の選任を議場に諮っ

たところ満場一致で浅黄敬之理事長が選出された。

議長は挨拶を行ったのちに、直ちに議案審議に入った。

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分(案)について

議長は、第 1 号議案を附議し、司会者に説明させた後、議長の求めに応じて監事を代表して大賀監事より、さる 4 月 15 日に組合事務所において令和 3 年度事業財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び事業報告書を監査した結果、いずれも適正に処理されている旨を報告した。

議長は、可否について議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り承認可決された。

第 2 号議案 令和 4 年度事業計画(案)、収支予算(案)について

議長は、第 2 号議案を附議し、司会者に第 2 号議案の内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ満場異議なく原案通り承認可決された。

第 3 号議案 令和 4 年度借入金額の最高限度額について

議長が、第 3 号議案を附議し、司会者に第 3 号議案の内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ満場異議なく原案通りに承認可決された。

第 4 号議案 理事、監事任期満了に伴う改選について

議長が、第 4 号議案を附議し、司会者に第 4 号議案の内容を説明させようと考えたが、定款第 32 条の第 4 項定める指名推選による選出方法を行いたい旨を議場に諮り役員選出のために役員選考委員会を設置することを提案し、選考委員 2 名を指名した。役員選考委員が、選考委員会を開催するために、選考委員以外を会場から退出させた。選考委員会にて役員候補者を選定した。その旨を、議長に報告し、一旦退席した方を会場に戻し、議長から選考委員により候補者名簿を預かり司会者に候補者を読み上げるよう命じた。司会者は、預かった候補者名簿を読み上げた。議長が、役員候補者について議場に諮ったところ満場異議なく原案通りに承認可決された。(理事 10 名、監事 2 名)

第 5 号議案 日本ふとん製造協同組合の今後について

議長が、第 5 号議案を附議し、司会者に議案の内容を説明させた。

議長が、議場に承認を諮ったところ満場異議なく原案は、承認された。

議長は、議案の終了を宣言した。

司会者が、閉会の挨拶を佐藤副理事長指名し閉会の挨拶を行った。

司会者は、第 65 回通常総会を終了したことを宣言した。

以上ですべての議案の審議を終了し、午後 4 時 25 分に閉会した

新理事・新監事がいったん退席し、理事会を開催し新たに選出された理事長、副理事長、専務理事を報告した。

本議事録は原本に相違ありません。

東京都中央区京橋 2 丁目 8 番 2 号 京橋MKビル 4 階

日本ふとん製造協同組合

理事長 浅黄敬之

日本ふとん製造協同組合 役員

2022年度 新役員

(敬称略)

| 役職名 | 氏名 | 会社名 | 役職名 |
|---------------|-------|------------|-------|
| 代表理事 (理事長) | 浅黄敬之 | アサギ(株) | 代表取締役 |
| 副理事長 | 佐藤雅己 | 福島寝装(株) | 代表取締役 |
| 専務理事 | 只野悟 | 事務局 | 専務理事 |
| 理事 | 河村佑太 | コドモわた(株) | 代表取締役 |
| | 米山元章 | (株)エビス | 代表取締役 |
| | 石田裕紀子 | 木村綿業(株) | 専務取締役 |
| | 本多英治 | 本多綿業(株) | 代表取締役 |
| | 西崎匠 | (株)ニシザキ | 代表取締役 |
| | 石川幸弘 | (株)藤田屋 | 代表取締役 |
| | 金井一浩 | 一財)日本ふとん協会 | 理事 |
| 監事 | 大賀茂功 | (株)ダルマックス | 代表取締役 |
| | 工藤博 | 高砂わた(株) | 監査役 |

2022年度 技能実習生受入れ推移と在留状況

2022年12月10日 日本ふとん製造協同組合

1. 研修生・技能実習生受入れ推移

| 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 8名 | 36名 | 38名 | 47名 | 42名 | 43名 | 65名 | 59名 | 51名 | 45名 | 40名 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| <u>2014</u> | <u>2015</u> | <u>2016</u> 6月 | <u>2016</u> 7月 | <u>2016</u> 12月 | <u>2017</u> 1月 | <u>2017</u> 7月 | <u>2017</u> 12月 | <u>2018</u> 8月 | <u>2019</u> 5月 | <u>2019</u> 8月 |
| 46名 | 37名 | 3名 | 12名 | 6名 | 2名 | 22名 | 4名 | 12名 | 3名 | 7名 |
| <u>2019</u> 9月 | <u>2019</u> 10月 | <u>2020</u> 3月 | <u>2020</u> 12月 | <u>2021</u> 1月 | <u>2022</u> 4月 | <u>2022</u> 5月 | <u>2022</u> 5月 | <u>2022</u> 10月 | <u>2022</u> 11月 | |
| 12名 | 2名 | 1名 | 8名 | 1名 | 4名 | 1名 | 6名 | 1名 | 2名 | |

(2003～2022年の20年間の研修生・技能実習生受入れ実績は666名です。)

2. 2022年12月10日現在の技能実習生の在留状況 (28名)

(敬称略)

| No. | 県別 | 会社名 | 技能実習 1号 | 技能実習 2号1年 | 技能実習 2号2年 | 技能実習 3号1年 | 技能実習 3号2年 | 計 |
|----------|----|----------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 1 | 茨城 | (株)根本 | | | | 2名 | | 2名 |
| 2 | 茨城 | (株)会吉商店 | | 2名 | | | | 2名 |
| 3 | 栃木 | 東京化セン(株) | 2名 | | | | | 2名 |
| 4 | 群馬 | コーフ(株) | 2名 | 1名 | | | | 3名 |
| 5 | 群馬 | (株)アビス | | | | 3名 | 2名 | 5名 |
| 6 | 埼玉 | 松敬産業様 | 3名 | | | | | 3名 |
| 7 | 新潟 | 木村綿業(株) | 2名 | | | | | 2名 |
| 8 | 三重 | 河田寝装(株) | | | | | | |
| 9 | 京都 | 大恵ウール(株) | 2名 | | 1名 | 1名 | | 4名 |
| 10 | 香川 | (株)藤田屋 | 1名 | 1名 | | | | 2名 |
| 11 | 宮崎 | (株)菱友 | | 3名 | | | | 3名 |
| 計 | | | 12名 | 7名 | 1名 | 6名 | 2名 | 28名 |

3. 2021年12月～2022年11月末までの途中帰国及び行方不明者数

| | 技能実習 1号 | 技能実習 2号1年目 | 技能実習 2号2年目 | 技能実習 3号1年目 | 技能実習 3号2年目 | 合計 |
|-------|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----|
| 途中帰国者 | | | 1名 | 1名 | | 2名 |
| 行方不明者 | | 1名 | | | 1名 | 2名 |
| 合計 | | 1名 | 1名 | 1名 | 1名 | 4名 |

基礎級合格者 1名

2021年12月～2022年12月10日

| 会社名 | 国籍 | 人数 |
|-------|----|----|
| (株)菱友 | 中国 | 1名 |

随時3級合格者 18名

2021年12月～2022年12月10日

| 会社名 | 国籍 | 人数 |
|----------|-------|----|
| (株)根本 | カンボジア | 1名 |
| (株)会吉商店 | カンボジア | 2名 |
| 東京化セン(株) | 中国 | 3名 |
| (株)エビス | カンボジア | 1名 |
| 松敬産業(株) | フィリピン | 3名 |
| 河田寝装(株) | 中国 | 3名 |
| 大恵ウール(株) | カンボジア | 2名 |
| (株)藤田屋 | カンボジア | 2名 |
| (株)菱友 | 中国 | 1名 |

第20期 入国実習生

(12月10日現在)

| 会社名 | 国名 | 人数 | 入国日 |
|----------|-------|----|-------------|
| 松敬産業(株) | カンボジア | 3名 | 2022年4月16日 |
| 大恵ウール(株) | カンボジア | 1名 | 2022年4月16日 |
| 大恵ウール(株) | カンボジア | 1名 | 2022年5月8日 |
| コーワ(株) | ミャンマー | 2名 | 2022年5月23日 |
| 木村綿業(株) | ミャンマー | 2名 | 2022年5月23日 |
| 東京化セン(株) | ミャンマー | 2名 | 2022年5月23日 |
| (株)藤田屋 | カンボジア | 1名 | 2022年10月15日 |
| 丸倉寝装(株) | ミャンマー | 2名 | 2022年11月17日 |

入国予定 2022年12月15日以降

| 会社名 | 国名 | 人数 | 入国日 | |
|----------|-------|----|-------------|-----|
| (株)根本 | カンボジア | 2名 | 2022年12月15日 | 3号生 |
| 東京化セン(株) | 中国 | 2名 | 未定 | 3号生 |
| (株)菱友 | 中国 | 1名 | 未定 | 3号生 |

海外技能実習生派遣事業

カンボジア 視察

当組合の外国人技能実習生受入事業も 20 年目を迎えました。今まで中国、フィリピン、カンボジアそして昨年はミャンマーから技能実習生を迎え、総勢 666 名になりました。

この間に、技能実習制度に関わる法律も変わりましたが、当組合は優良監理団体として順調に事業を運営してまいりました。

ところが、2020 年に中国から端を発した新型コロナウイルス感染症により、海外との往来が制限され、実習生の入国ができなくなるなど、今まで経験したことのない状況になりました。



さらに、昨年の春以来、急速な円安が進行することになり、本国に給与を仕送りする実習生にとっては、大変厳しい状況になっております。

このような状況を踏まえ、より良い人材の確保と、よりスムーズなアフターフォローを実施するべく、従来取り組んでいた送出し機関だけでなく、新たな送出し機関の調査や情報を入手するために、現地に行く必要性を感じておりました。

そこで、新型コロナウイルス感染症が落ちついた、7月19日より22日にかけてカンボジアの首都プノンペンに、米山国際交流部会長とともに視察に行つてまいりました。

カンボジアへの入国後、新規送出し機関 3 社と既存先 1 社を訪問いたしました。



最初の訪問先「S. T. K. CASTER CO., LTD」は、社長はカンボジア人が務めています。実質的には日本人が経営している小規模な送出し機関です。日本での拠点は広島県福山市、大阪に通訳 2 名が在籍しています。実習先企業は全国にわたっており、業種は建築、食品製造、段ボール箱製造などが多いとのこと。求人は希望年収、目標貯金額などをヒヤリングして、実習先とのマッチングを行っています。実習生のフォローは Facebook などで行っています。規模は

小さいですが、現地に日本人が在籍しているのがメリットだと思われます。

次の訪問先「JOB ASIA」はオーナーがカンボジア国防省の役人です。規模は大きく近隣のアジア諸国に人材を多数派遣している実績もあるようですが、日本への技能実習生の送出し実績はないとのことでした。

規模が大きい分、人材の確保については4社中一番力があるかと思われます。日本への送出し実績がない分、手続きやアフターフォローは未知数です。



次に、昨年初めて技能実習生を受け入れた送出し機関「ASIA RECRUIT STAFFING CO., LTD」は外食産業の「ワタミ」の子会社です。現地スタッフも日本人が数名在籍しており、専門の日本語教師もいます。カウンセリングやサポート体制も日本国内に日本人通訳が在籍しているので体制は整っており、手続き関係も問題ないようです。今年の1月に技能実習生の面接で訪問する予定であり、今後も継続して取り組むか検討していきたい先です。

最後に今までカンボジア人技能実習生の送出し機関として、継続して取り組んできた「BRIDGE JC CO., LTD」を訪問しました。

当機関とは2016年より取引を開始して約40名の実習生を受け入れてきました。当日も、日本の組合とWEB面接を行っており、日本向けの送出し機関としては実績もあり、安心して取り組める先だと思われます。

現地には、日本語を話せるスタッフが数名在籍しており、こちらとのやりとりも問題はありません。しかしながら、日本に常時在籍している通訳がないために、現地のビジネスタイムを考慮しながら、通訳依頼やWEB相談の必要があります。この点はカンボジア人通訳を常駐させている日本の法人に業務を委託する予定で、国内でのフォロー体制も良くなると思われます。

以上のように、送出し機関も様々で、一長一短ありますが、やはり海外との業務に関しては、現地の機関との信頼関係を構築することが一番大事なことだと思われます。



現在、組合としてはカンボジアとミャンマーから実習生を受け入れておりますが、今後の国際情勢の変化や、外国人技能実習制度そのものの見直しなどに応じて、随時対応していきたいと考えております。

そのために現地の送出し機関との連帯を深め、関係各所からの情報収集に努めるとともに、組合員の皆様のご要望などを基に、今後の事業運営を安定して継続していきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症により中止になっておりました「JFMA 研修会」を3年ぶりに、一般財団法人日本ふとん協会と日本ふとん製造協同組合の共催で、7月14日、15日の2日間、山形県にて開催致しました。

新型コロナウイルス新規陽性者も増加傾向にある中、開催が危ぶまれましたが、感染対策をしっかりと行った上で、全国から11社17名の組合企業の方々に参加頂きました。

今回の訪問先は、多種多様な睡眠課題の解決策に取り組んでいる「山形大学睡眠マネジメント研究センター」と、世界に誇れる日本のモノづくり企業として地方から発信されている「オリエンタルカーペット(株)」様を見学するスケジュールです。

初日は米沢市にある山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターに集合しました。こちらで、山形大学が設立した「山形大学睡眠マネジメント研究センター」が取り組んでいる睡眠課題解決のための実証プラットフォーム「Good Sleep コンソーシアム」の紹介と、この施設内にあるスマート未来ハウスの視察を行いました。

まずはスマート未来ハウスの見学を佐野教授、井上技術長のご案内で2班に分けて行いました。スマート未来ハウスは、山形大学で開発した技術を活用した、リビング、ダイニング、和室そして寝室からなる近未来の家、生活を考える実験施設です。

どの部屋も、有機ディスプレイや特殊な照明を使用した快適な空間です。我々が一番気になる寝室は、様々な機器を使い、最適な睡眠を得るにはどのような環境が良いか、実証する実験を行っていました。

次に、「Good Sleep コンソーシアム」について、横山教授よりご紹介いただきました。このコンソーシアムは、睡眠に携わる企業が山形大学と連携し、睡眠課題解決のための研究をおこなうというものです。これにより、企業に新たな産業や新価値を創出することを目的にしており、単なる基礎研究ではなく、ビジネスにつながる研究だと思われます。

初日の見学を終了後、大正年間に建てられた、有形文化財の館が有名な市内の吉亭にて、懇親会を催しました。江戸後期からある庭園を眺めながら、自慢の米沢牛を頂きました。地酒を酌み交わし、参加されたメンバーとの懇親がさらに深

参加者メンバー

| | 会社名 | 氏名 | 役職 |
|----|---------------|-------|---------|
| 1 | アサギ(株) | 浅黄敬之 | 代表取締役社長 |
| 2 | (株)エビス | 米山元章 | 代表取締役社長 |
| 3 | (株)エビス | 米山幸平 | 取締役 |
| 4 | (株)エビス | 海藤知弘 | 営業部 |
| 5 | 木村綿業(株) | 石田裕紀子 | 専務取締役 |
| 6 | 木村綿業(株) | 水口晃 | 取締役工場長 |
| 7 | 木村綿業(株) | 清水智博 | 取締役 |
| 8 | 福島寝装(株) | 佐藤雅己 | 代表取締役社長 |
| 9 | コドモわた(株) | 河村佑太 | 代表取締役社長 |
| 10 | 白崎繊維工業(株) | 白崎善大 | 代表取締役社長 |
| 11 | 白崎繊維工業(株) | 山根未鈴 | |
| 12 | (株)ニシザキ | 西崎匠 | 代表取締役社長 |
| 13 | (株)ダルマックス | 大賀茂功 | 代表取締役社長 |
| 14 | (株)藤田屋 | 石川幸弘 | 代表取締役社長 |
| 15 | 大恵ウール(株) | 西岡一則 | 代表取締役社長 |
| 16 | 東京化セン(株) | 鈴木伸一郎 | 工場長 |
| 17 | 東京化セン(株) | 遠藤理津子 | 商品企画室 |
| 18 | 日本ふとん製造協同組合 | 只野悟 | 専務理事 |
| 19 | 一般財団法人日本ふとん協会 | 金井一浩 | 事務局 |

まったと思います。

2日目は、ホテルからほど近い、上杉鷹山が祀られている米沢神社を参拝し、車で1時間ほどの山辺町を目指しました。

今回訪問した「オリエンタルカーペット(株)」様は、昭和10年創業の山形段通の製造工場です。糸づくり、染めから織まで日本で唯一、一貫生産を行っており、皇居新宮殿、迎賓館に納入実績があるなど、海外にも輸出されている段通メーカーです。

JFMA 浅黄理事長と懇親のある、渡辺社長様よりご案内を頂きました。

目を見張るような彩色やデザインのカーペットが展示場には飾られており、会社の歴史や今までの取り組みを交えてご説明頂きました。

個人的に驚いたのは、糸の色数です。微妙な色付けが難しい天然繊維である羊毛を2万色以上もストックされておりました。

これだけでも素晴らしい技術ですが、さらに驚かされたのは、職人による織工程でした。縦糸に横糸を一本一本、丁寧に手作業で結び、カットします。一日に織り上がる長さは数センチ程度とのことでした。

織職人は若い方も多数在籍しており、東京の大学を卒業してこちらの会社に志願して就職された方もおりました。織工程、仕上げ工程はほとんどが職人による手作業でした。デザイン、原料、そして工程まで妥協を許さないモノづくりに深く感銘を受けました。

地方から、世界に誇れる最高級の絨毯を創りだし、地域社会に根差した企業経営を行う姿には、我々ふとん製造業も見習うべきところが多いと思われます。

コロナ禍の中、3年ぶりの研修会でしたが、参加された皆様が何か得ることがあれば幸いです。このような研修会が業界の活性化や企業間の情報交換、そして企業経営のヒントになるように、来年以降も企画していきたいと思っております。



JUST MOVE 日本ふとん協会・日本ふとん製造協同組合 事務所移転

2017年10月に八重洲二丁目北地区の再開発に伴うビル取り壊しのために、60年にわたり事務所のあった日本ふとん協会ビルから、京橋に事務所を移転致しました。その後、5年近く仮住まいをしておりましたが、その間、新型コロナウイルス感染症がまん延し、在宅勤務が定着するなど、オフィス環境も大きく変化しました。

このような中ではありますが、ポストコロナ時代のオフィスビルとして、昨年8月に八重洲二丁目北地区は東京ミッドタウン八重洲に生まれ変わりました。東京ミッドタウン八重洲は三井不動産が開発の中心となり、八重洲地区再開発の第一段となる大型プロジェクトです。

この施設は2つの棟で成り立っています。一つ目の施設である、八重洲セントラルタワーは地上45階、地下4階の事務所、店舗、ホテル、小学校、バスターミナルからなる、東京駅と地下が直結している利便性の非常に高い複合施設です。

協会と組合の事務所が入居する、もう一つ目の施設の八重洲セントラルスクエアは、



地上7階、地下2階の事務所、店舗、住居、こども園（子育て支援施設）が入居する多用途なビルです。

東京ミッドタウン八重洲は昨年の9月から一部の店舗が営業を開始しておりますが、グランドオープンはこの年の3月10日の予定です。日本初進出の「ブルガリ ホテル」やビジネス交流施設、様々な店舗が入居し賑わいを見せると思います。

竣工後の9月5日に、この施設としては一番乗りに入居いたしました。9月22日には、日本ふとん協会の評議員会と理事会を今年の3月にオープン予定の八重洲セントラルタワーにあるカンファレンスルームで、三井不動産様のご厚意により、会議の会場として使用させて頂くことが出来ました。



新しい事務所は、会議や打ち合わせができるように、会議室を設けております。WEBでの会議もできるように設備を整えました。寝装業界紙の年鑑などの過去の資料も備えております。交通の便の良い東京駅の目の前に位置しております。

皆様お近くにお立ち寄りの際には、是非ともご活用ください。

